月) 日三日九

酸行

印 報 發 明 報 行

制度 定本 全数 仮証

業者間に反對 佛資本や技師の流入必要なし

日四月九年九和

より 罷

リカ人自身の手で造つた武 のだ、今日の世界政治組織 を見るに陸海軍には各獨立 特のために回等の中心政府 機關が無いのは驚くべき時 機關が無いのは驚くべき時 機関が無いのは驚くべき時 機関が無いのは驚くべき時 をと同格の機関として平和 省を新設しこれによつて平 省を新設しこれによつて平

總數七十二萬五千に及ばん

全國紹作概況は八月十五日の 農林省資表の作况が其後の天 候により多少見直しの觀ある が、九州地方は依然旱魃著し く昨今早冷で一般的には稍々 不良の域を脱し得ないが豫想 多少見直す

費は替差損金は絶對必要額で

片貿易を調整

新貿易樹立を急ぐ外務當局

の方策は の方策は 一、出超國との通商條約には 最惠國約款の確約を求め特 産品の輸入を増加し、輸入 産品の輸入を増加し、輸入 輸出の増進を聞る 最惠國條項締結を要求し我 村 整に考慮を求める ラ、コスタリカ等と交渉計畫 中である 促進し、積極的に片質易調の特惠的措置により輸出をが商品への闕税引下げ其他

乙類試驗

17.410 ヘ量 信受験者は五日午前入時半迄 に各試験場に出卵受付金製票 を提示の上受験票の変射を受ける事にな つて居る 京濱防空演習 率大、 新機關車試運轉 成績は上乘

作物で11米 「XOX」

3 【大連國通】新京まで試運轉型九七〇號機關事は客車四輛型九七〇號機關事は客車四輛 分大連្降に顕着したが

地は適點です、途中路盤の 動揺も思つた程なくて乗心 動揺を思つた程なくて乗心 一つない。さらか、 てた・・・・

新京商華學校講堂 大森醫院 ぶりさんが身元素 のいる縁動下の

「施い? おは、1 A、 窓外、 「施い? おは、1 A、 窓外、 がつて …… 工族に強かれた際に聴き上の あの人のこ

ら、この間や、とげけて 眼のか お友達」 一ちせて、 電は、骨脂の発養は、危酸このに、自 自答しであた。しかし と出ると大型へ及ることは、独立 たんだらう 「若しやり 彼は肚の中で、都合のよいは

法部法學校 欧上のとつよ

那里子もついて還入り乍ら、 上談が様に、恰らない、大からな の歌の中へ入っない話のな気を吹きとばして了 個面神極をびくつかせ行ら、壁のた。その様、神経質らしく、 別と見詰めてある。 革戦を抱きにピンで無路作に止めた為山を

ている友達のことを、しきりに 工様は、寫底を見ながら、管 「曾川は、昨夜、何板米なかつへてゐるのだつた。 新京日之田町一ノ十六条譯……文章 立案 印 **局** 電話五五二三番 の御用命は!! 無話二三人士 満 計 みどり茶園

程世流議 か 授 白 瀧 師 範 カ 瀬 郎 範 ・ 本 瀬 師 範 ・ 本 瀬 町 範

否々そんな管にな

成行き である 花嫁さん達 日の地画 Barbar S 華天瀬台

たる。これである。 豐鎭と云

流住しようと雄々しく出かけるのであるが、午後八時廿五 分下闘行の急行に乗り込み閣の列車四で只夫一人を頼りに 東京を離れて行つたが、光は 小錢が拂底 缺く園場地方 商取引に圓滑を

**重大となつた** 

能業準備

の紙幣は巷に満ちても小錢 てゐるが、一圓、五圓、十圓 、十圓 取引上基大な不都合不便を來 取引上基大な不都合不便を來 無路作に、からかあり 『ありがとう。 「なんだ」 封筒をポケットに なんだおやぢ、

「健促したつ」 間なんでせう、単代の催促ちゃ 『あら、御絵夢だわれ。だつて つてもいい?」 愛りかける 夜は來なかつたがし み友達でい」んだよ。あいつ、

廿一億圓を突破せん

資本利子稅等の增稅考慮さる

ぶつきらばに、答へ任ら、階に 無い極はふら 告するわり 「やつばり、 工能が馬鹿でかい間で、安息が 白狀しないと、 等 財

質間アリ

被雇度無出来ます。 土地家军 <同惟

土地、

あ ま

東二條通り機南渡る左至急側伺殺します 陽堂 

電話 賣買金融 電話用達部 电話 賣買





◆五 行一回 金八十四 ◆五 行一回 金八十四 場積日指定姓名在社 場積日指定姓名在社

深四

世アノがハタと止んで、村井 ぐれて、 野里子が、特・願いた殿の内嶼 「おかしい から親く。 「工廠さん、工廠さん」 もうつし 港の彼女達川 ぐれて、浴つたかつて」 「おかしい、まだ、とぼけつち 9

速しようとしてゐる揺さに無付っな途の事を、 ムキになつて際 那里子が、慇懃らしく高々と 火つた。 工職は、他のみずけ泊りに來 下宿

いて、ゴロリとまた鞭撻んで、 かし、どうしてゐるかな、昨 「うるさい、お戯さんだな、飲 

先く血は躍 ただ…… 恐せのもの

往うヤイ

七四

電話ニ九二五・二九六七新京老松町二丁目天野商店内 新京出張所新設 精々御利用御援助の程奉懇願候

看護婦附添婦

五七〇五番

うだいちの

の 市の防空演習第二日は、防婆 大演習が夜來の豪雨を備いて 大演習が夜來の豪雨を備いて 大演習が夜來の豪雨を備いて 人んだので不参加であつた民間 人んだので不参加であつた民間 人んだので不参加であった民間 時に防護側は臨の中を勇気

甲、旬末構內在貨噸數

7000 前旬 前旬比較 17系20 △17120 系量 △0710至

一、荷動狀況
(八月中旬分)

新京鐵路局 八月中旬貨物輸送

H

た事は非常な注目を惹いた ・論じたが、特に氏が右ラギ ・論じたが、特に氏が右ラギ ・論じたが、特に氏が右ラギ

の職争煽動、策動を攻撃し、ナイ氏は一日ラデオを通じてナイ氏は一日ラデオを通じてカイ氏は一日ラデオを通じている。

家を痛撃 軍需品製

調查委員長米上院軍需

東京市電整理案

業員側に一大衝動を與へ罷業ー が、未曾有の整理断行は從 大都で、未曾有の整理断行は從 で、節 が、未曾有の整理断行は從 で、節 をは、一應全員を退職せしめ が、未曾有の整理断行は從

関、外勤一割の人員を減少し 関、外勤一割の人員を減少し 関、外勤一割の人員を減少し 関、外勤一割の人員を減少し

Ħ の大龍菜となる筈である 織物勞働者 總罷業斷行

京 ペニューョークー日國通」全米五十二萬五千人に上る綿織物毛織物祭働者の總龍栗は愈か一日午前に至り總數三十萬の組織等働者も決然参加を表明したので罷業開始の瞻は合計七十二萬五千に及ぶ室前ととまた。

勢である

経情の消化力は金融市場の 公債の消化力は金融市場の

土地、家屋、賃貸借 土地、家屋、賃貸借

美術看板 宇 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* 話京 四朝七日 二通

三四番七

店

四五 話

六

旬末に於ける構内在貨及院内 在貨を主要品目別に示せは大 は は は 大豆に於て 輸送順調なりしを 大豆に於て 輸送順調なりしを 大豆に於て 輸送順調なりしを 大豆に於て 輸送順調なりしを 大豆に於て 輸送順調なりしを

郡建設其の他工事か天候に惠 古、大され 旬末に於ては武線設 も河豆の荷動は盆々好調を呈するに至れ で、な等好材料に依り管内の出 は哈爾濱方面膏貨物の發送制 が対送あり拉濱線方面膏貨物の發送制 な、均送あり拉濱線方面膏貨物の を一日約百五十事を示すに至れ 大され 旬末に於ては武線設 大され 旬末に於ては新站押出 な、大され 旬末に於ては新站押出 大きれ 旬末に於ては新站押出 大きれ 旬末に於ては新站押出

り、一日午後七時駐講羅軍部間下鞍山方面の管下巡観中の日下鞍山方面の管下巡観中の

岩佐憲兵司令官

電が寄せられた

如き配

が北鐵にて拉致

に鎌談を求め、

を救つた

・ヤツ一枚のもの都足のもので で問氣温の急激に低下する折 での別なく兇暴なる順賦に引 がらざる可しと言はれ、敷出 人質の其後の健康は相當築遺 はれてゐる

# 大連金鈔票 11118

心境を記す

身を挺して人質

も拘らず氏は極めて元

りであるりである。向

## 日本海軍防備隊のいさをし

分駐滿海軍 日滿海軍戰鬪槪報

路に廣寧を、下流台流點に普一日午後十時牛營子本支水路 不明なりし處、同十時半廣慶 一、発表 年前十時まで匪賊の情况 人七、黑龍江省岸の村落を捜査せる 彈藥等 風地の 

發射彈數兩艦計入煙約七

し、八十名を以て列車を襲撃 其内二十名を中の鳥巢窟に残 が四百、人質の言によれば該 を連れたる二十名は昨夜日 一計伐 一受け、その人質 し、日滿軍の は昨夜日の は昨夜日の

ぬ相互間の連絡の功と共に各逸せぬ機敏な追撃と一糸観れ 方面絶讚の的となつて居る

萬歳を叫ぶ埠頭 感激の

**藤澤威雄氏(貴族院議員際澤** の寒氣のために痛々しい迄に 二名は拉致以來六十時間余り

邦人八名着哈の劇的シー 利喜太郎氏令亨)外日本人五 報に接し、 謹んで御成功を 號がその姿を見せるや、待ち 令部前埠頭に到着した、廣慶 市民、米人居留民の萬歳膠裡 市民、米人居留品井少將以下埠頭

を叫ぶ埠頭は全く歌喜と感激 を叫ぶ埠頭は全く歌喜と感激 を叫ぶ埠頭は全く歌喜と感激 を叫ぶ埠頭は全く歌喜と感激 で新聞社の寫真斑のカメラに で新聞社の寫真斑のカメラに

ペハルビン國組)身を捨て、他の人質八名の危急を救つた村上桑太郎ははボートより防備隊置事號に移され直ちに電備隊置事號に移され直ちに電機を悪いた人名に對して維跡も共にした八名に對して維跡も極くヘッキリと左の如く記し

そ

0

大学津島九四番地に生れ、嘗で、 学津島九四番地に生れ、嘗で、 シベリア出兵時代には軍曹と シベリア出兵時代には軍曹と して従軍し抜群の殿功を擧け

れも腕に「親蘇鞍勇軍」と 

色伏魔殿

至極元氣 速いか

快癒案外は る公署ハルピン関通) なが氏は目下赤十 大郎氏は目下赤十

院直後顎骨のくだけた部分を

て居ました人質奪還の際匪 氏を命の恩人だとて何時迄 氏を節の恩人だとて何時迄 賊は約八十名居ましたが何 

これが救出の動機

の犠牲的勇猛

八木艦長當時を語る

遭難各:

NZ.

題成といふ奴のは

各地市場

この模様では給與は復して

事

では給與は復しても穀與令平常化近しと

各位の生命を金比羅大權現及ひ伊豫大三島大明神に新 で、小生は夢うつゝにこの は、小生は夢うつゝにこの

運休の模線、ペスト以上に危ベスト侵入を恐れ北鎌哨部線

急襲六十時間にしてこの偉大それにしても日本陸殿隊員の

なる結果招來

に拉致人質奪還の因をなす民政部村上氏の犠牲的勇猛登

ドレて行くものとして前途大 地地區各縣の縣る事官をリー 北地區各縣の縣る事官をリー

色テロの精緻的交通妨害によかれた北鐡は匪賊の襲撃、赤いれた北鐡は匪賊の襲撃、赤い 掃論器々擡頭す 日滿當局斷乎猛省を促さん

を捨てソ聯側に對してその猛 を根底から覆へしてその禍根 を根底から覆へしてその禍根 を一掃すべしとの論默々擦頭 を であるが右負相判断大場 学架に包まれた形に在るが頻 本たる列車棒事に鑑み日滿富 同は背後の黑幕暴露に鋭意努 力中であるが右負相判断大場 

氣遣はれる 人質の健康 ▲張瀬氏(實業部大臣)同から

角になり匪賊の集中射撃に強と日本警楽兵の車輛と直接と日本警楽兵の車輛と直

人質中には無帽の者、ワイシー 大質となつたもの及列車事件 遠離者の遺留品はハルビンに 送達されて來たが、その中に ばチョッキ、帽子、上衣、靴 △板垣少將(軍政部最高顧問) 濱田少將(軍政部顧問)同

▲ 織道省教習生四十二名五日午後一時五十五分来京 本宮城縣青年團七名六日午後 ・ 旅薪投宿七日午前六時三十 分勢南行豫定

少する

HERET STREET, STREET,

事を提議したが、帝國政府と 進步的主張を爲さんとする模 続空母がの廢止、主力艦の総 少は飽迄これを强調せんとし て居る 

外經濟

少を主張する模様である、即 ち帝國政府は過敏のジュネー ヴー般會議に於て 一、主力難はワシントン條約 規定の單瞻噸数三萬五千噸十 備砲十六吋を二萬五千噸十 四吋に縮少する 一、航空母艦を慶止す

聯の聯盟加入一

救出するかは日

コードを作り、然も一名の職 一路慶兩艦乗組みの日本防備職 一路慶兩艦乗組みの日本防備職 一路慶兩艦乗組みの日本防備職 一路慶兩艦乗組みの日本防備職

**T原賊の爲人質として拉致さ** 州日夜南部線列車襲撃に際し

ゴードを作り、然も一名の職 値かに六十時間と云ふ最短レ

最短レコー

ドを更新

即刻斷行を强硬主張

聯合艦隊方面の意向

一時間

一糸観れぬ陸海空軍の連絡

には相當の日子と犠牲を要すでは従來の例に顧るも救出迄

るものと觀てゐたが、拉致後

勘に日孫炳國陸海空軍の機を

(東京関通)明年海軍會議へ の政府の對策は近く閣議で决 定されるが、廢棄通告時期に 就いては廣田外相に一任され て居るので、十一月中旬若く は十二月中に適當な時期を選 ひなされるべしとの説が起つ で居る現状に當り、海軍側の 聯合艦隊方面においては政府 の對策が決定した上は速かに

華府條約の存績を希望するせずに會議に出れば日本が

に入る事を示すので、涌告由に豫備會商を延期した事由に豫備會商を延期した事

一、通告すれば太平洋の防備制度 ので、日本に不利と云ふものあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とする

ば、米國より受ける脅威はで、米國は世界一の艦隊整備や米國は世界一の艦隊整備や米國は世界一の艦隊整備

H

能性濃厚

一、通告の権利と下を決関あたりが高飛車に出る惧れありが高飛車に出る惧れあり

等條約の鐵則を脱し、通告の權利を行使し、

は外國の物

常時軍縮條約を締結する米海軍では華府條約の締

軍は注目してゐる の程度まで反映せ の程度まで反映せ いた角海相がこれ。

既如何に全海せしめ、又廣れを閉議へどれを閉議へど

除かれぬ

東洋職攻陣を完成するも同

エート聯邦の國際聯盟加入問題に關し、英、佛、伊三國政府は夫々自國の外交使節を介して聯盟各國の意向を採らしめつゝあつたが、英國官邊より非公式に開知する處によればこれ等三國がソ聯邦が何等の支障も無く聯盟に加入し得る見込みは極め

加空母艦の廢止と

艦の縮少を强

日本政府、次期海軍會議で

進步的主張をせ

山海關外國館
軍内に流行病
軍内に流行病
に最近流行性脳脊髓膜炎流行
に最近流行性脳脊髄膜炎流行

東

力能の一大縮

乗を意味するものなるを以 地まんとする政府の對策が 地まんとする政府の對策が

塩を不利に際間の疑惑

夫(中) 末光順喜雄(下)の諸氏 ||方には||一菱緩縣教育観祭園 ||本には、||一菱緩縣教育観祭園

大陸空の三方面より大活動を 横け、匪賊に拉致された日米 横け、匪賊に拉致された日米 横り、匪賊に拉致された日米 地の毒手より奪還救出するに 型つたが、今回の救出は實に 日滿軍憲の不眠不休の涙ぐま しい大活動の賜物で各方面の とい大活動の別物で各方面の

が、途中次第に分散し、

附近の濕地を中心に右翼は若 を襲撃せる匪賊團は黒龍江省 としてゐたものであるが、討 としてゐたものであるが、討 を関撃であるが、討 を関撃があるが、討 を関係の四站方面に逃亡せん を関係の四站方面に逃亡せん を関係の四站方面に逃亡せん を関係の四站方面に逃亡せん を関係の四站方面に逃亡せん

に迫ひつ ものである

めて救出に成功した

花江の濁流に吞まれ行方不明 ものは廿五名、外の二名は松 は懂かに廿七名となり、陸戰

に人質をつれて船に乗った

商家は重傷の村上氏の手管 てを一刻も急ぐので艦の運用に必要な最少限の人員の みを乗せ、陸戰隊員、ボート等全部を現地に残し全速 力で歸つて來ました、途中

ルビン特派員村上氏が

絶叫であつたのです、する んと堅き覺悟の下... 競した 身を犠牲にして人々を救は

五家子濕地に追込み成功

疾風迅雷的に殲滅

の奪還隊

込まれて威嚇されるので救 するぞーと銃口を口中に突 順賊に「摩を立てたら射殺

ず、約廿分不氣味な無言のらも救ひを求める事も出來

撥除間近かに在りと知り

時間が過ぎたが突如寂漠をす、約廿分不氣味な無言の

匪團と

關係

最早嚴然た

る事質

動かすべ

からざる證左舉る

るのだ」と大陰に叫んだ

H

各方面の感謝の的

走經路は一日深更挑家 棚

屋にシャッ一枚の人質日米にのは牛營子の柳の密林中の小は牛替子の柳の密林中の小

はありますが生命には別状手當を致しました、質傷で 無いらしいとの事で安心し

題を打ちくだれした。

口に擬した銃を競射し、此と其瞬間驚いた匪賊は轟然

た、即ち三日まで當局の情報側のてみることは確實となつ解南方の旅客列車襲撃事件のいるることは確實となつに、即ち三日まで當局の情報を表現した。

の率ゆる匪賊と共産黨員が を妨害し突如姿を消したこと 要回に亘り需會したこと 名が指揮してゐたこと 不審の怪露人が事件發生と 共に各車輛のドアーを開け んと策し一、二等車の消燈

等の有力な證左が嚴然と擧げが専門家の指揮に依り配備が専門家の指揮に依り配備

二隊に別れ逃亡

で、最初八十名乃至百名居たし、その行動を散速で、相當し、その行動を散速で、相當

方二満里の地點で廿名宛二 され約四十名は孔家 棚面に於て双城縣自衛團に

査を始めるや人質の人々は すが、我陸職隊が附近の捜

名を敷つたのです、無事なは全く一身を棄てゝ殘餘八

は、 の地點三性屯で五省、長海 一、列車顛覆技術が 、 一、列車與擊事件の敗日前ソ 共に各車輛のドス 、 一、列車與擊事件の敗日前ソ 共に各車輛のドス を妨害し突如姿。

英佛伊

が積極的策

れも死亡し、大恐慌を起して

七五三一二十現

社會式株產物井三 元賣發

▲上海日本向

BLACKTEA

◆上海倫敦向 「無井八分」 質値 「無井八分」 質値 「未井八分」 

日案

三二五

0

H

支店 奉天宇治町三 支店 新東老松町十二 際し優良なる への放資は當店の 證券部 久記証券部 御利用下さい!! アスでは高價に買入 電話 置二

未曾有の抵金利時代に

常本床張用材 商 平和半行 マニャ版各種 商 平和半行

詳細御問合ハ 電話三三五七番

店舖住宅事務所向

氏合 座

小學軍大 人生人人

十 十 演熟大士勇三部阿●井三●耳磯

演主 子紋塚飯 郎太好本阪

秋名 の書名三 鹿馬のんさ兄 篇本陣立

三日よ

三日間上映

## 鐵 拉賓線本格 來る特産出廻期の活躍見もの 手具脛ひ く總局側

株は運賃低減統一と共に大連 線は運賃低減統一と共に大連 ・ は昨年度特産の出廻も一段落 ・ は下年度特産の出廻も一段落 ・ は下年度特産のと見られて ・ に現はれるのは本年度特産の ・ に現はれるのは本年度特産の ・ に現はれるのは本年度特産の ・ に現はれるのは本年度特産の しき輸送を開始すべくハルビ の秘密制引に對抗して華々 きを期して居る 地列車運轉等に秘策を傾け北 は貨車繰りの計畫に萬遺漏な期し特約運賃の設定或ひは直 ン鐵路局を中心に鐵路總局で

頃から實施する豫定であるを計畫しつゝあつ たが感々成案を得 たので、十月を計畫しつゝあつ たが感々成案を得 たので、十月 關東軍平時給與 十月頃から實施

等官三村博美兩氏の遺骨は三十一日午前歸京の豫定であつ たが匪襲事件のため遅れて二 日午後三時二十五分着列車で 來京一旦譯待合室に安變し關 係者多數の燒香を受け直ちに

光寺大本願の 尼公上人

南部線運休か

の侵入を恐れ

中央部で善後策協議

たが確かな事は判らず、いたが確かな事は判らず、いち立つ心を午後五時の確報 を待つて出發しました、御 変の通りの着のみ着の儘で 早速馳けつけて來た次第で 中速動はつけて來た次第で 中速動はつけて來た次第で 中述がで生存者の方 なとお逢ひして色々遭難當 需単 職病 没用 士追悼のため 瀬単 職病 没用 士追悼のため 満鮮各地巡錫の途に上ること になつてゐるが、一行二十八 名で來る十九日午前十時から 西公園表忠碑前で慰慶祭を執 行し、引續き南嶺戦蹟で同様 「中會長田中舍身氏の秘書小林 碧水氏は三日地方事務所その 他を歴訪してこれが準備打合 はいればシの関連はである。 のルピンに侵入の惧れあるので、 のルピン市當局ではこれが善る 後策に就き新京中央部に打電が のでは、場合に依つては北て のでは、 のでは

により順覆を免かれ露人二名 のも列車を急速度で逆行せし め二層 子に引返した、斯く で今や北鎖沿線は東南線上に 恐怖時代を現出して僅かに西 でかれて、新く

密輸さギ

ヤ

ング

に對抗す

財政部の新規計畫

座談會開 口次長を迎え 

連絡、不正事件捜査、密輸ギャングの取締對策並に税闕監立に長城線の各税關に配分される事となつて居り、この結が別までには夫々配備に就き事敢なる税關の守りとして其活躍は期待されて居る

一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年後三時六分 
一年の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
の社員を集め座談會を開いたこれよりさき 
一年の計画を表した。

「本学生社員十一名及び 
銀道事で 
一年の一年で 
一年の一年の一年で 
一年の一年の一年で 
一年の一年の一年で 
一年の一年の一年の一年の 
一年の一年の一年の 
一年の一年の 
一年の 
一年の 又も匪襲 東部線で

愛媛縣遭難者遺族

に午前八州分叕列車でハビン 卅一日の午前九時頃でした 多事岩永静雄、同江縣警務指にやる心を一時間半驛待合室 みを押へるかの様に語氣を强 北瀬第一線の縣治に任じ遂にで各方面の見舞を受け、直ち めて語る りますから りますから 地球の一線の縣治に任じ遂にで各方面の見舞を受け、直ち めて語る と想ひ新たにこみ上げる悲し 地球の一線の縣治に任じ遂にで各方面の見舞を受け、直ち めて語る やますから りますから 地球の手 第一次 副多事等の 愛媛縣教育観察園の遭難者遺 に急行した、一行は 電電です

救出された喜びを語る

死線を越れ

にた

滕澤、内田氏の話

居たが沼澤地に差しか」るや があり夫々地下室もあつて如 があり夫々地下室もあつて如 があり夫々地下室もあつて如 があり夫々地下室もあつて如 があり夫々地下室もあつて如 があり夫々地下室もあつて如

たが匪賊は日滿軍の急追の手 たが飛行機の爆音や銃撃を聞 たが飛行機の爆音や銃撃を聞 たが飛行機の爆音や銃撃を聞 いて急に方向を變へ南方に松 いて急に方向を變へ南方に松 いて急に方向を變へ南方に松 が け「打つぞ」と脅かし乍ら我 は 本の歩みが沼地のため遅くな 酸打した 酸打した

もう間近かだ」

然し靡をたてたら最後鼻光に 突きつけられた銃で唯一酸だ いに迷つた、魔をたてれば所 をが解らない、魔をたてれば所 をが解らない、魔をたてれば所 をが解らない、魔をたてれば所 をがかるには何分にも最少 限度二三名の犠牲者が出ると 限度二三名の犠牲者が出ると

内田兩氏は

相一五六〇〇<u>久</u> 田久木

四番ー二で率天勝つ、閉酸四四番単二で率天勝のあとをうけ無順勢率天滿俱載は津出、有財産をしき打撃戦を演じて兩軍率をしき打撃戦を演じて兩軍率をしま打撃戦を演じて、一次のより開始される場合を表現のあとをう

對撫順野球

掛きだと

かりの思ひだつた 立つば たい。直ちに重傷の村上氏を吸いてたちまちの裡に全部蛙の如く河中に飛ひ込んでボートの反對の方向に泳きながららに来いとの合圖があつたので村上氏を残した八人は水中に飛び込んで約十間位泳き捜で方の方に重傷の村上氏を吸した八人は水中に飛び込んで約十間位泳き捜でする一方濁つた河中で断末を片つ端から射殺し、斯くてたい。直ちに重傷の村上氏を収をする一方濁つた河中で断末をよっよいで見る頭賊を大つ端から射殺し、斯くて

けふの

銀相場

附

お技

票對鈔票幣對國際

九川田八00個 九川田10個

だといつて支那幽呂くら

八月二十九日 中午 瞬の忘れもの

擴

轉

移轉先 住所 梅ヶ技町四丁目 吉野町 亍 目二〇番地 四番地

ツサ 1 ジ灸 科 高 診 電話三三四 ~院

お技屬 へ 秀 三九 三る 西男部 ∪職 頂員設 き数 **次**名 第採 遠用 近 致 をし 間候 は間

京新 Ŀ 九三四五年 服 服服 品 界の龍 の御用命は を代表す 兒 3

3

y

兩米人の喜び

たところ午前十次 たところ

突きつけた順賊の前に恐れ報 民は突如すつくとばかり銃を 民は突如すつくとばかり銃を

を片つ端から射殺し、斯くて 我々九名は六十餘時間にして 我々九名は六十餘時間にして 大面持ちで語り最後に 大面持ちで語り最後に 大面で同氏が身を犠牲にして 大のこの决死的な行為に依る もので同氏が身を犠牲にして

先づ御愛顧は一〇

酸と

一 「ハルビン関通至急報」日本 と名前の入つた防備隊員の作 に つたが、海氏は満面に裏色を 的の活動と吉林省公署の村 で ス氏及ひデンマーク領事ョル た ユリー氏は米関總領事アダム に 日満兩関事警の疾風迅雷 かられ、二日夜モデルンに入 に 日満兩関事警の疾風迅雷 かられ、 一 に ことを けるよう

作ら交々語る 作ら交々語る に日満兩國事警の疾風阻雷 が救出されたのは、偏へ に日満兩國事警の疾風阻雷 ト条太郎氏の英雄的發性の

既製品 新型豊富の當店で 大上洋 話 二十 二 十 四 番街

## 0 六大學 IJ

島五十

鈴公木

撫順白川、1

ル

E

ン勝 2

ンラかテ

明石高人總骨

た眼鏡の彼

か少し面や

てから少し

來ないので

師

教の卷

巡回打診

對慶應

**慶應陸上** 

七賞四百匁也、十七賞ですゾだつて目方が二百匁減つたの

こゝに彼女の嘆があります

東都洋畵展

頗る好

『アタシ近頃とても嬉

世界のカョ子朗らか

经

は東京國通)第十二回早慶對 「東京國通」第十二回早慶對 40-12

へてやる人はありませ

能か彼女の思ひ叶

南人賞 南人賞 南一〇六〇名 本 地地 西 伊 一五五〇 友 報 

六等

五等

松小內大规人菊 木田藤林田

受期付日

十等

優等清酒

一日から商業學校で蓋をあけた洋畵展の豪華版、東都洋書展は出品がわが洋畵壇の代表展は出品がわが洋畵壇の代表展は出品がわが洋画壇の代表を呼んで第一日目の一日は約六百名の美術愛好者が押しよせたほど盛况で伊信富士」「スンパリト」柳原原氏の「富士」「スンパリト」柳原氏「ばら」他小品酸點が資約
氏「ばら」他小品酸點が資約

九等 八等 七等

五四三二一大物的等 實業勝つ

(錦州國通) 錦州領事館に達 熱河寧城縣に

調なき篇、鈴 調なき篇、鈴

達

秋季釣魚大會

一等は松木さん

一貫六百匁の大漁

(柳原-竹田) 名崎 岩瀬-渡邊) 7 9A

電話四分類

の面目羅如たるものがあつただ選手は見るからに陸上無敵だ選手は見るからに陸上無敵がつらりと並んが選手は見るからに陸上無敵

代書一 貫 学門 業 り 大しく裁判所書記の職にあり 其後行政、司法の代書業に從 事多年の經驗を有する安井清 英氏は發展途上にある新京に 永住今回朝日通り西語深町醫 院前に事務所を設け民、商、 刑事及行政其他一般代書。務 に從事する事となつた氏は公 私廿餘年の体験に基き親切迅 速を信條として受託處理する 動きなれば一般依賴者は便宜 觀後場所

夕

イプライタ

菅沼

で で 元 即 書 應

新京永楽町しれたがれる

本人直接來談ノ事 シネサー ť ス 新京支店

電話四九三五番

事務所又は店舗向職意老松町ニュナニ 新京驛より東へ四丁 を 五四五七番

新 新京富士町二丁 京

嚀 そして 7 田田

學哲化新定掌手斷易 孫鐵社會 御指定 サービスを 御客様第一の bl 新京ホテ 致して居ります 親切 ル 12

月南い相本相 來石獄 學部學 る龍師 界長南 皆様の

新装なれ 5

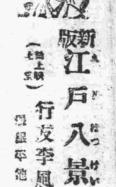


速









(母詞) 行友李風唱作

新事は控ゆべし

室福

と生って

日催閉

日午前十

田 月 日 日 矢 月 日 元

比の禁業

歌一歌

炭

用 命 11

電話五三九三番へ

各種木炭專門 松尾

年 九 和 昭

隊備會議對策の諒解を求む

ふ<br />
滅相に<br />
説明

管画教導総員が通行人と口論中巡邏の第六區巡警数名が腰見仲裁に入らんとするや「巡見仲裁に入らんとするや「巡上、遊行中の同隊員靖安軍十二三名と共に右巡警を袋叩きにした上巡警の帶刀を抜き斬りつけ范力夫に瀕死の軍傷を発いさにまし巡響四十餘名出動十二三名の軍隊と相對し流血の

に意見一致したので、海、外 の具体的根本對策に就て去月 二十八日岡田首相、大角海相 三十八日岡田首相、大角海相 三十八日岡田首相、大角海相

午前林陸相を官邸に訪問し最 の三関僚協議會で意見の一致 を見た根本對策の内容を詳細 説明し諒解を求めたるに對し 満腔の營意を表して海相を激 励するところあり、種々重要 ところあり、種々重要 ところあり、種々重要 ところあり、種々重要 ところあり、種々重要

機定である 独定である 独定である 独定である 独定である 独定である 独定である 独定である 独定である 独定である

館附武官仰付

整手艦長に桑轉せる前駐禰海 電部参謀長藤森大佐は一日附 をの後任として新参謀長大島

匪

ッ條約廢棄斷行を含む極めて して銳意事」的折衝を進めつ いあるが、大角海相はこの對 が、大角海相はこの對

に於ても夫々十月の對抗演形、鎭海、馬公の兩製港部所、鎭海、馬公の兩製港部

重大意義を有するに鑑み卅

解を求める筈である

に寄港して神宮参拜を行ひ 第四艦隊は九月中旬伊勢灣 等の諸訓練に自然的意氣を 等の諸訓練に自然的意氣を

長會議を開催する事となつて長會議でに於て國內各署の事業科議でに於て國內各署の事業科

事業科長會議

我が海軍省

艦隊の

動靜を發表

九月中旬には佐世保垣港に 一旦入港、陣容を整へたる 後第二回演習に移る豫定で ある

陽っる事項等に互り協議し、 を表表を開催する事となつて ある、各署より事業科長及ひ 販賣股長二名づゝ出席し各署 の事業概況報告、賣下價格の の事業概況報告、賣下價格の が正並に密輸取締、康徳二年 度栽培指定に関する方針、煙 が正が、原徳二年

高樂繁茂期に入り全滿則賊の 活動活潑となり、既に北鐵東 部南部兩線に於ては幾多の軍 大事故の發生を見たが日滿戀 警寓局に於ては、萬潰漏なき 作職の下に之等滿洲國の治安

二、吉林省 厚である

優秀で共産黨的色彩が濃

警務當局

殲滅を期す

ソ聯より彈藥の供給を受け、吉林省奥中方面の匪賊は

の八萬に比すれば三萬五千 内の人で全滴を通じ匪賊総 以上大體に於て主なる匪賊はは數年來の討伐で鼠賊を除 の減少である

吉川商會 看二九元四日 将甲板

就て 世上に 讀高G醫

◆ずらとは傷中・▶ 事の記明所住名氏

事の不可能なるは初日や一週間で其の目的 内を控へたる大都市 切つた事柄

望して止まない

起け出でたので、高等係では 最近日満ソ開戦のデマさへ 開設の日間では 大観し、目下犯人酸探中 あるを闘手が競見、

【大連國油】八山滿機副総裁 へ赴いた 八四副總裁新京へ 高處置により事無きを得たが 臨埠地憲兵分遣隊員の機敏な

近來又類々として咬し得る事を斷言して憚 女の一の目的をも達

不穏な樂書

クリート中に一朝乃至二朝られたもので使用は普通コ

ト中に一朝乃至二割

の結果效力絕大なるを立計

學、商士試驗所等に於て試験

山大學土研教室、東

京工業

で斯界の權威者本原

個の「鑛素」

全阿栗店・百貨店商品部にあり

市宮 関本の 意見は、本事件は 前の関を崩壊せしめた東大東 仲であるのみならず、主とし て関係人の陳述を鞭據として 處理しつゝある事件であるか ら、三土前鏡相の 重要否認か ら、三土前鏡相の 重要否認か に動揺を来す様なことがあつ てはならないとの理由がら、 ではならないとの理由がら、

**営ふに起見一致して居り、 尙眞實を否認する**に於ては僞 召喚、最善努力を盡した上で

けふ又復召喚か を有して居り、

の 後三回に亘つて國務大臣を勤 を仰いでも に関し、檢察當局は同氏が前 を執り、司急 ある前鐵相三土忠造氏の處置 てはとの懸孫 に関し、偽證問題を惹起して に取扱つてに関し、偽證問題を惹起して に取扱つて

二土前鐵相の偽證 司法當局慎重

か 最近頻々と起る満洲関軍隊の みある

頃工業區國民市場にて第一

滿洲國軍人

巡警を傷害

でらたが、小原法相以の懸念から慎重な態度の懸念から慎重な態度

せらる 4 野犬騙除に對しては 一 東 日 田 夫

ぬ彼地では十年前から一年三 百六十五日を通じ是を行つて で我輩は當局に『哈爾濱式の を禁じ得ない、

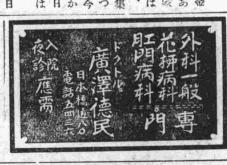
居て信其の足らざるを極み呈 を質減せられん事を切に季 ことを命じたが、場合に依つ ことになる機模である 奉天驛に

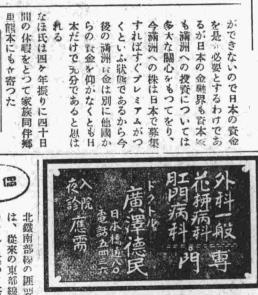
Aマーのマークを書き込んで クで樂書され、其下に鋤にハ 以下敷行の不穩文字が青イン 率天驛二等特合室前便所の瞭倒率天驛二等特合室前便所の瞭倒 シアを守れ

率天暑に けられてゐる る鑛素の需要多大の期待をか 山口鐵道部次長

新任挨拶のため三日午後本社 挨拶に來社 事往來

★大原萬千百氏(地方委員 क)長)三日午前七時率天から





儒 北鐵南部線の匪 近頃

H

ラスカを經由の

合せを行ふ模様である

機關に於て調査せる今期の匪

主としては阿片の收穫を狙 では、聯領に週入して鋭鋒 には、聯領に週入して鋭鋒 を遊け機を見て確領に勝り

プレ

ミアムがつく

匪賊を撃破

泰東北方で

杉之原鮮銀支配人歸京談

全と利到關係によるものでしてゐる向が多くこれは安してゐる向が多くこれは安

で

の株は

醜態

0

シ

マコフ

歸還命令

害を試る匪賊は所持の武器、鐵道沿線に出沒し列車妨

方面が最多多く跳梁し他省、地域的に見て吉林省國境

**沙航** 空路開設

ア

ルで兩國代表者協議

大黒河特務機關の宮崎大尉に 大黒河特務機關の宮崎大尉に

演習參觀

海軍部で

接待法考究

で朝鮮銀行東京支店で行はれた事務打会會に出席中の鮮銀新京支店支配人杉之原孝善氏は一日帰京して語る特別に満洲にのみ関する間に力を注いでゐることは事に力を注いでゐることは事

はしくないやうである、滿てあるが貸出はあまりおもてあるが貸出はあまりおも

港のアメリ

カ丸で着連、林檎

一、八月一日大演習開始以來正午左の如く公表した正年左の如く公表した正年左の如く公表した。

物ともせず急速なる實力の世後水道有明總方面に在つ豊後水道有明總方面に在つ

日本兵戦死一名
「キチハル関近」二日午後三
時二十分頃泰東の北方二千米は時二十分頃泰東の北方二千米は大ので克山守備隊より西村の際長は都下〇〇名率あて地急行時餘に百る演戦の結果腫成は多数のが休を遊棄して逃 等兵は壯烈なる戰死を遂げた備隊高い勇伍長、平井外吉一 米人の人質全部を無事敦也し この間僅かに六十時間、しか も一名の犠牲者も出さず、日 して「闘を立てると殺すぞ!」 と威嚇されながらも、大際に 員村上氏は犠牲的勇猛心の發 あつたのだが、日浦軍憲の機は、更に残された吾々の同胞並して拉致された雷大問題でして拉致された 青として永久に記録さるべたなどは日本海軍防備隊の 火遂に葬還救出するに至つた、電光石 ものであらう▼が事競見に ● 人に取つて、近回 にない大きなショー にない大きなショー いふべきもの▼不幸

納治五郎氏、三井合名常務理 丸は三日午前神戸に入港した 吾等は一日も早く全癒されんことを新つて止まない▼各學でとも第二圏期に入つて、上級學校への入學地備が本格的になる、準備教育が良い悪いなどは問ふところでなく、結めであるといふことが先別、不學するといふことが先別、不學するといふことが先 痛切なものであらうと同情中子女を持つ父兄の惱みは一層 して賊躍のために重傷~負つ

南東の風盤

士を乘せ

部旅順要港司令部にて斡旋尚日滿軍人軍隊は駐滿海軍

新書島斯第三科長は、近く調 神となつた満y 水路會議に満 神となつた満y 水路會議に満 神となった満y 水路會議に満 神のであった。 は同かよ ののであった。 ののである。 のので。 ののである。 のので。 のので。

陸戰隊の大殊勳に

司令官豪傑笑ひ

お祝客次から次へ

禁じ得なかつた やつゝけたのだな」と微笑を

第一、

第二艦大連東港へ

銃剣術らしい勇しい氣台が響

者は刻々にして引揚げたが營

人質救出に感謝 【ベルビン関語】日滿米の関際的人質は日滿軍際の不眠不 株の電光石火的活躍により二 日無事敦出されたに對し、在 一学ンマーク領事ヨルゲンセン 氏は同道して三日午前九時半 氏は同道して三日午前九時半 より若山〇幽司令部、安藤特 教閥關長、森忠總領事、日本

五日第一艦隊を主とす)

は國洛院總務廳にて統制

る豫定である お説谷が押寄せて來るので記憶計、宅面通の四氏は四日 つ迄も細くなつてみて如何に好意で、文から次へと中後三時廿五分菊京に勝選す もうれしさう、文から次へと接子と共に來補した資源局技 笑にまぎらはしたが、それで被子と共に來補した資源局技

水路會議の經過につき中央に

黑河に向帰が路委員

けふ午後新京着

ク兩領事

(イ)一般(関東州々滿洲各地)に對しては大迪海 軍協會主体になり滿洲日 報、海務協會三者聯合に て之が募集斡旋を負す て之が募集斡旋を負す

「東京國通」岡田首相は關係 三省が對立の狀態で紛糾を續 付でゐる對蔣機關改革問題の が改善の状態で紛糾を續

佐藤兩大使

十二日新京着

 $\mathcal{V}$ 7

(イ)一般(間

乘を許す希望者は左記によ

官民、學校生徒、

し、滿洲國要人、

海智を實施 、地方有力 海智を實施

日)の際近代的演習を實

構問題解決後

の任命は

現内閣への書龍點睛を期す

有能の士を詮衡中

香の上輸入 千葉事務原連談 千葉事務原連談 ・一葉事務原連談

時間で兇悪な匪域の魔手から と司令官は「ナーニそうで、米人九名を電光石火僅か六十 人氣ですよ」と臍離を呈す、せる北鎖南部線遭離の人質日 「海軍の御手柄ですね大變、関際的センセイションを搭起 同司令部に訪問し た記者

【フェアバンクス二日酸國通 ラスカを經由する米リ兩國間 ラスカを經由する米リ兩國間 の直通航空郵便を計費するに 決し、右航空路開拓の具體案 を協議するため遞信次官ハー レープランテ氏及ひハイ飛行 を開請し、日フエアバンクス

兩省の問題で十月中には陽この問題も結局農林、拓務

務省を通じて農林省へ曹頼 が提出されてゐる等である 農林省の意向は検査の上で 輸入を許可すると根本方針 は既に决定したのだから残 るは検査に関する技術的問

断婦にらつ」を技かして機能 をさらした例の大黒河駐在ソ 職領事館員シマコフは重ね に觸れ、ハバロフスク極東本 部の取調べの終つた卅日諱に 部の取調べの終つた卅日諱に

では來る九月廿四、五兩日旅 では來る九月廿四、五兩日旅 順に於て擧行される聯合艦隊 の近代的演習便乘及十九日よ り廿三日迄大連碇泊中左の嬰 頃により脚覽を許可する事と なつたが、希望著は豫定人員

1大連旅順大艦隊九月廿四一、第一、第二艦隊九月艦隊九月 旅順に回航(第一艦隊大連より 旅順に回航(第一艦隊九月

を期すべく種々考究中であるてこれが接待方法につき萬全

別への資金ではこれを補ふこと 類を要し到底滿洲國内だけ はしくないやうである、滿

ベリアの東端に渡りアナジ

1 2

しムに

所に設置するか及ひ檢査方題即ち檢査所を何箇所、何

法のみである

御高配を深謝。

見する筈である

ヴィエート航空當局と

西村三選手を始めオリ 照 國 九神 戸 着

藤兩大使は満支視察の途に上、駐繭大使経蓄電の報告によれ

き観察の上引返し新京奉天一泊、十四日へルピンに赴ー泊、十四日へルピンに赴

ることになったが旅程左の如

大利に就ては其数百余種に及 水剤に就ては其数百余種に及 かるが今世新泉に於て唯一日 本橋通り科野洋行に於て唯一日

防水材の王 鑛素好評 月月日日 氣天



建牧入額が一萬七千六百八十四個內食事一萬二千七百二十四個內食事一萬二千七百二十四個內食事一萬二千七百二十四個大額ともに昨年と比較して著しく減少した、理由は昨年は納に最大の他四千九百六十四個ともに昨年と比較して著しく減少した、理由は昨年は納に最内食室の延

会會をも組織すべく、地方事 をといなり、更に各町内會の聯 といなり、更に各町内會の聯 をといなり、更に各町内會の聯

へた三十一日夜大連汽船上海 着となり三名の乗組員が十六 歳の女船客を輪姦した事件が 歳の女船客を輪姦した事件が

**判明した二百十日を翌日に** 

金

融

申締

込用 纫 金

紙は官製ハ

條 通

ガキに限る

食道樂

話二五五四

金

は秋風既に訪れた渤海灣をホ

及日掛中致》 × X 及日掛中致》 × X

征算律算は左の通りである、 低算律算は左の通りである、 で工費單位千圓)

修理される

熱河各古廟

5000

各町内會は

地方行政補助機關

同時に聯合會も組織

微數電話高價買入

賞

金融月賦販賣

カフェー店名

商品擔保貸付

倉庫完備)

拾圓一名 九月五日

(壹等當撰者)

(九月五日附滑印あ)

さなかつたゝめである

海棠寺(圓亭子) ニニ海棠寺寺

無線電話の利用者

務所で目下これが規則を制定にし、いづれも地方行政の補にし、いづれも地方行政の補にし、いづれも地方行政の補で、この意味において一般かで、この意味において一般から多大の期待がかけられてある。

| ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | (

今秋流行教柄帶側とセル

地

一大上 する超特急の客に 一大上 車は目下沙河口 るが、豫定では今月廿日迄に 二個列車分十二輛が完成、直 ちに試運轉を行ふ筈である、 ちに試運轉を行ふ筈である、 たの客車は滅鐵が最高技術を 平均時速八十二、三キロの急此秋から満鐵線大連新京間を

は、 備へて時速百キロを以て走破 田 水る様に設計され、名質共 出 水る様の展認車まで一個の から最後の展認車まで一個の から最後の展認車まで一個の から最後の展認車まで一個の から最後の展認車まで 一個の から最後の展認車まで 一個の から最後の展認車まで 一個の から最後の展認車まで 一個の から最後の展認車まで 一個の から最後の 展記車まで 一個の から最後の 展記車 まで 一個の から最後の 展記車 まで 一個の から最後の 展記車 まで 一個の から最後の 展記車 まで 一個の から最後の 展記車 と 不るのを防ぐためにボデーか 、

月九饱九

1が冠せてある、車内に於る 夏の冷房装置、多の煖房装置 の色は鮮かな緑で白線が一本 通つてゐる、工場では既に外

||日下||車内設備中である地北いものである

客車を全部

中年より激減 新京大和ホテルでは六月二十 三日以來營業してゐた納京園 で即答なりまとまりがつくた を先月二十八日閉鎖した、今 め漸次利用者の増加をみてゐ 年は雨天が多かつたのと氣溫 るが八月中の通話回數は(滿 新 年は雨天が多かつたのと氣温 るが八月中の通話回數は(滿 新 一般商人員は三千百六十五個(内食事 二通話で今のところ利用者は 収入六千七百六十個飲料、一 一般商人よりも官廳および土 明で親しくでき、而もその場 二 一般商人よりも官廳および土 明本 一般商人よりも官廳および土

非常事故防止の為

ヶ月 方、電氣方、修車方共に二 中のところ二日新京署中谷刑 が、電氣方、修車方共に二 中のところ二日新京署中谷刑 が、電気方、修車を検車 六十圓を横領消費し行方不明

日を追ひ増

先月一月で<br />
四百五十六通話

宮内府の

乗組員であり乍ら、無惨にも で旅馴れぬ林惠媚に近づき脅 迫して甲板上の倉庫内にロッ クアップして不居きにも身は ではいいでは、無いでは、一般では、 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。 のアップしで不居さいでする。

本關係者に多いやうである、 通話の有効時間は七割五分か に能となるわけであるがこれと に能となるわけであるがこれと でも豫想以上の好成績でなほ の百三十一通話に強が七十七回 の入十二通話で通話回数は大

に配布する予定である

下これの

新京輸入組合では今回で 横範店員表彰 行ふことゝなつた、新 輸入組合店員表彰會

- ルカーと比較にならぬ程 多 英等の事故を起した場合被害

横領店員逮捕永樂町

男氏は今度撫順陽院へ榮轉新京縣院分院事務員小野瀬

る可く明年度豫算に經費を要いので、滿鐵では今回優等事いので、滿鐵では今回優等事

ら共謀し得意先から一千七百 のコロンの三名は昨年七月か のコロンの三名は昨年七月か のコロンの三名は昨年七月か

のはずることに决定、近日單獨赴任

室町、西廣場兩校父兄會で

日下より

一計畵

、開始せ

車は二、三年前より改造には全部スチールカーとし三

、月中の

は同數位である

日満聯合の

防疫委員會開く

分擔方法等協議

からの分を加へると

結果によつて更めてそれぞれ 人員を調査に着手した、その 校について 來年度の入學志望

力運動したい積りであるないやうであるから、來年ないやうであるから、來年ないやうであるから、來年ないやうであるから、來年

開始するはずである、右につ

を思ふ、その半分も收容 悠に三百五十名は確實であ 東年度新京属女の希望者は

城内か

50

電報は

城内局を

御利用の事

市公署

近く永春路の角にある

いふことが嫁入

馬路へ折れると永春路の角市 大馬路を南に向て中間右へ二 鮮 満洲電信電話株式會社新京城 へ

実等の事女でB、こ等は脱線衝 活車であるが、之等は脱線衝 水造車で殊に展壊車は全部木 地で発に展壊車は全部木

■保安方電氣方共に二ヶ月 本保線區線路方二ヶ月△保安 ヶ月

新京分院の

小野瀨氏榮轉

政府今回の禁止令を早

第二高女新設運動

原ではかつて八九年前に長春 商店協會が一度店員の表彰を 行つたことがあり、これは經 費の點で中絶してゐたもので 同表彰會では毎年六月の一日 式を撃行することゝなつてゐ るが本年の第一回は十月十五

店から該當者を申告せしめて

行で工事を新京中央電 新電話簿 れが電話番號簿の作成を別頭をみ電話局では目 一件は二日をもつて を急いだ結果特殊の 電話局の本年度第一 月早々出來 標内僕役炊事場より出火、急機により各消防輸出動鎮火につとめ、同家屋の一部を纏いたのみで午後一時鎮火した原たのみで午後一時鎮火した原 構内僕役炊事場より出火、急三日午後零時五十分頃宮內府 米若一行

がも外聞も忘れ、くやし涙に や限りなき侮辱を受けた林は がも外聞も忘れ、くやし涙に

て 変互に 弄んだものである、 午後八時より約一時間に 亘つ

警音器レコードに洋服附屬品部も加えてて**皆様の御**來店

に御知らせ

を御待ちして居ります

本 音器なら何卒弊店で

(元小關樂器店) 日

信

洋

行

新京東一條通。

十月早々加入者 日 三日から大連で興行中の壽々木米若一行は大連打揚後、溝 織沿線各地を巡行することに なつてゐるが、新京では來る 十一、十二兩日興行の襄己。

である

害者と對决、目下酸軍取調中 ちにエロ船率天丸に至り、何 くはぬ額をして働いてゐた前 配三名を水上署に引致して被

造作付店舗至急譲渡シ度御希望ノ方へ

電話四八七八番~

所 城內東三馬路

店

舖

を悪用し 麻藥禁止令 滿鐵中園氏死去

北平公安局排毒所長股煥然は 起民更生をさけんでゐる矢先 【北平三日殷國通】麻藥吸飲 排毒所長銃殺 市内常盤町三丁目十一番地二十二號新京驛本手中園童(二七)氏は四、五日前から病氣のため新京醫院に入院加擦中であつたが三日午後零時七分離石効なく遂に死亡した、同能は鹿見島縣出身で約一ヶ月前起婚したばかりの前途有意の融員であつた

以て銃殺された 住消息

郷町五丁目錦いれ十號

▲ 菊地實氏(長崎縣)大和通 り大同隣院へ ・ 大同隣院へ ・ 上町壁軍官舎五十五號へ ・ 星町壁軍官舎五十五號へ ・ 上町・ 大和通 ・ 大同隣院へ ▲石野菊大郎氏(神奈川縣) 富士町二丁目二十七番地図 際運輸へ 体質野惣吉氏(總島縣)大 連から常盤町三丁目十四番 地ノ三へ トの田顯之亮氏(大阪府)旅 順から祝町五丁目六番地謝 公館へ

開業御披露

其他一般化

京一架町器院前

立賜はり度願上ます

等 ( ) 本 ( ▲ 監明大吉氏吉野町から大和通り五十二番地へ 山方へ 山方へ 山方へ 山方へ 一工目二十番地へ 山方へ 山上喜三氏説町から古 野町一丁目二十番地ノニ杉 山上喜三氏説町から古 野町一丁目二十五番地へ り四十二番地福昌ビル三階 り四十二番地福昌ビル三階 の四十二番地福昌ビル三階

▲渡邊捨五郎氏 (曙町四丁目 大番地)四女淑校さん三十 一日出生 本高瀬君雄氏 (芙蓉町四丁目 一番地)三十日午後十時死 亡 雨前

七

事故防止策

時 後が執行されること」なつて ・ 機理を飲派し給ひて恭代輝章 ので例年の如く南隅の孔子廟 で鄭總理の恭代行禮により盛 ・ で鄭總理の恭代行禮により盛

の二回奏樂を行ふの二回奏樂を行ふ

午前十一時より正午迄

**重は、モーニング又は青馬** 水腹炎は學生は制服、關体

本天丸乘組員奉天丸乘組員

者指揮の下に行ふこと

及映画の巡映を行ふことへな に認め左の日程を以て巡回講演 を期し建國及尊孔精神晋及の を期し建國及尊孔精神晋及の は本年度仲秋上丁祭

が新京は韓國以來第一、第二般の多數參拜を希望してゐる

新京鐵道事務所で

は最近未常

場につけて事故な

百

出席者は三十餘名の豫定 の東站において開催される、 ら東站において開催される、

京圖線第一回

站長會議

十三日の孔子祭

今年も盛大に

二、學生及一般自由參拜は恭 代釋奠終了後とす 學生及團体參拜 學生及團体參拜

鄭總理を欽派さる

新京鐵道事務所管内列車 新京鐵道事務所管内における 八月一日から八月三十一日までの運轉事故は十四日の十件 を筆頭に殆ど毎日事故を生じ を筆頭に殆ど毎日事故を生じ 中、場所的にみれば楊木林虻 中、場所的にみれば楊木林虻 中間の責任事故が七件で最

軍政部・憲兵司令部・滿鐵、關 空部大長以下民政部、陽東軍 空間機、副委員長保民政 時東軍 空間 一次 日 漢防疫聯合委員會は三日午 上 東 日 漢防疫聯合委員會は三日午 上

本で其他委員より希望事項に 大で其他委員より希望事項に 大で其他委員より希望事項に 大で其他委員より希望事項に 大で其他委員より希望事項に 大で其他委員より希望事項に 大で其他委員より希望事項に

移張擴

❖あ ペマツサ

主

無味なので電報受談は敏速に 行はれ、料金の國幣建の不便 な點では近くに兩番があつて すべてが便利が多いそうであ

付御報文第多上いたします

(前裁判所書記、行政、司法代書人) 安井清英事務所 東二條通橋南渡る左 電舒五六一九番 一陽堂 明るく感のよい 幅いお食事を召せ 脱リンゴ極上品 . 新 着











② 村岡吳服店 豐富着荷陳列

移った。 「本本本事門の店として御引立に預りまして誠に有難く のでは、これ本事門の店として御引立に預りまして誠に有難く のでは、これ本事門の店として御引立に預りまして誠に有難く 第本床 張用材 商 **平和洋行** 第二條 通 七四

外交販賣員募集 希望の方は本人來談ありたし 新京曙町四丁目六 大正寫眞工藝所





ヒ アッシアへ車タサムタイコヒササニ小チ活
ラ ユナジワ エ ヨ ワノラ ハ ヌ
ス切一ンミビモビコリッチシシメバラベ鯛鯛
「四相五一一九二三四二二一二二三二六四四
〇 場六〇〇九六五〇三〇三〇七七七二〇〇三五

マーナメハイ ナセンノナ サセンノナ ファックナス

しかしされは音矢脈の腹景であつた。

あざけるやうに言つ

い、 満洲國は 實に 社會の 飛躍は 見出

れたものである、さ

るのではないだらうか

海の外から

(一)新京(騎手田中)

(二) 四頭三〇銭 (二) 四頭三〇銭 (二) 四頭三〇銭 (二) 四頭三〇銭 (二) 若葉(騎手山本) (一) 若葉(騎手山本) 二分四四秒一 三面八〇銭 (単) 二子四四秒一 一九面二〇銭

電気三九五巻

名判决の特赦

一大四国十〇銭

ラジオ事

社會革命であり政治革命は常

体である」と云ひ得るであら ない「協和會は思想柱國團 なであらうか、政黨でもなく

版が在住すると云ふ差異こそあれ、現在各國に國民として數種の民社會事業團体は精神的結合團体の主動体であるにせよ世界の一角調体であるにせよ世界の一角調像の天地に新生した新興國の建國團体として世界にそのの建國團体として世界にそのの建國團体として世界にその場合であるにせよ世界の一角であるにせよ世界の一角であると云ひ得

五間一〇銭 一二間六〇銭 五四間四〇銭 一一週一〇銭 一一一週六〇銭

健康第一

革命から社會革命

(E)

(一) 三國〇〇銭 (一) 三國〇〇銭 (二) 三國五〇銭 (単) 二等 七五七國十〇銭 二等 一〇八國一〇銭 等外 五四國〇〇銭 等外 五四國〇〇銭 一十二〇〇米 (一) 但馬(輪手有吉) 二分三三秒三

會

を語

3

第七號馬(入頭)一大〇〇米(一)黄洋(輪手田中) 二分一九秒二 (二) 松島(三)武藤 配當(復) 三圓〇〇銭(二) 三圓五〇銭(二) 三圓五〇銭

一〇、五九 時報、一〇、五九 時報、(東京より

一0000

舊市民會警備費收支 等書

自昭和五年十一月十

確實ナル商品=

名聲アル商標

ドアプサエックシテは

九百八十六圓五十四錢也

一が缺除されて居り、これを 東も必要とされてるるため、 協和會創設常初の使命として 國民的信念の歸一の具体化が 要げられ「協和會は思想建國 のである、然し乍ら將來の協 のである、然し乍ら將來の協 協和會は社會革命助成團体として行動すべきではないだららか、勿論特殊的國家であるが、それは協和會の使命の一要素として達成さるべきであつて、協和會はあくった機關として行動さるべきではないだららか

第五日九月二日(日曜日) 第五日目成績 第五日九月二日(日曜日) (一)時鳳(騎手清水) (一)中國上〇錢 等外 五圓八〇錢 等外 五圓八〇錢 (單) 一四圓七〇錢 (單) 一八圓〇〇錢 (單) 一八圓〇〇錢 (單) 一八圓〇〇錢 (單) 一八圓〇〇錢 (里) 一八圓〇〇錢 (二) 大郡(騎手市木) 一分二一秒 一分二十秒 一分二十秒 一分二十秒 一次 100 平 10 第四競馬(二) 克力 (二) 克力 (二) 克力 (二) 克力 (三) (一)天成(騎手) (單) 一(頭) 第十競馬(四頭)一六國 等外 三二國 (一)寶滿(騎手)

四、五〇 ニュース(英語) 四、五〇 ニュース(英語) (済語)

(單) 二一個 第十一競馬(六頭)二〇 第十一競馬(六頭)二〇 (一) 韋駄天(騎手) (一) 四國六(金銭 (単) 二等 一一(國五(金銭 等外 二七圓五(金銭 等外 二七圓五(金銭 等外 二七圓五(金銭 等外 三九二圓五(金銭 等外 三十二圓五(金銭 等外 三十二圓五(金銭 等外 三十二圓八(金銭 等外 二七圓(本) (単) 二分三四秒四 二分三四秒二 二分三四秒二 二分三四秒二 二分四七秒二 二分四七秒二 東チカの

(二) 經酬 二分四七和二 (二) 經酬 二分四七和二 (二) 四圓六〇錢 (二) 九圓五〇錢 (單) 九圓五〇錢 (單) 九圓三〇錢 (單) 九圓三〇錢 (十) 九八四〇〇後 (十) 九三八四〇〇後 (十) 九三八四〇〇後 (十) 九三八四〇〇後 (十) 九三〇〇米 (二) 康德(三) 天拜 四當(復) 四圓〇〇錢 

は、東京より)は藤藤大二選(終)宮城道 「秋を語る」質演(三絃)長野武 七〇〇 義太夫(大阪より) 一様女房染分手網(重の井 一が、一部れの段) 一部和の段) 一部和の段) 一部和の段) 一部の段) 一部の段) 一部の段) 一部の段) 一部の段) 一部の段) 一部の段) 六三〇趣味の話(東京より) 六00 = 11

三、落語 

九二〇尺八都山流 都山流 秋元隆山 岩清水 宗山 てくれ、お程度もお気を向けたさ 合つてゐて、此方の容子をみやう 向け、あれこれと夢中になって話 とする者など一人もなかつた。 では、清次郎、

武士は吉兵師の万へ

カナダ検事線長、ホーヌー、 カナダ検事線長、ホーヌー、 バルジャンと謳はれてゐるカ グリーデウエアに對して名判 決の特赦を行ひ二人とも市民 経護の的となつてゐる被告は 一九〇九年ネブラスカで郵便 列車を略奪して捕縛後リーヴ オース刑務所を脱獄、真生涯

搖彩票一等 (二) (二) (二) (二) (二) (型) (三)

四日(火曜)放送番組新京中前の部へ、〇〇ラギオ體操(瀬語)大、二〇ラギオ體操(瀬語)大、二〇ラギオ體操(瀬語)大、四〇瀬語講座 高宮盛逸七、〇〇日語講座 高宮盛逸

サマカカノハイボース・マボ カス ピカ 日水 ナマボ キェビエ 貝 ウ ゲカス ライキスオ 麒 鯛 エーニー〇一一四二二四三一二四四 〇六六五三〇三二〇七六〇〇七〇〇〇五〇 れてゐた。 だが強い次心の程が節にあらばれ

解魚小賣

二人は簡単の前へ廻り、車廠を 所に解練を上たが、直ぐ車は動き 用に解練を上たが、直ぐ車は動き 用に解練を上たが、直ぐ車は動き 用に解練を上たが、直ぐ車は動き 田山した、眼の前でまがつて動小路 了った。水ず 一つとびつくりした、 窓を動げたち 配はチラとその顔を見たのであった。 やうものなら 武士が規划を参げた時に、古吳 市丘南は笑つた。 市丘南は笑つた。 五六問程行 「さうでございますか、競分を んか。打ち配入つて來 かれて、見逃して了 だとは氣附いたんだ つてからっ にそのまる行過ぎて 際よく答へた。 ばかめ ツ附けてやらうと

完

備

4

空

間に

▲百

○○三○ 演藝、レコード ○○三○ 演藝、レコード ○○三○ 演藝、レコード ○○三○ 演藝、レコード (東京より) (臨時) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (東京より) (臨時)

たのが感びであつた直ぐはかねかたのが感びであった直ぐはかねかれ、さらして衝突即や変材を抱へて来た乾分二人の手で徹卓の上に その間を音兵衛は目を光らして

をの世名を取るできなく提灯をさげ 自分がのがれて來た方を眺め、そ 同等の異狀を眺められなかつた。 其側を通つても先を急いで回路らて火事物見物や見難に走る人産は

地方事務所長衛市民會警備環保管季員

在鄉軍人聯合公會長

ニュース(日語)

電に動き、除床をナランとはつてあるのである。 深夜中頭の にはつてあるのである。 深夜中頭の に横た あったが、 あつた。 たの音兵軍等はそばへ寄ったので

世た人達が微光の中に動いて四五 間先きの近くにみられたが、それ 産の耳にも聞き 温い酸にその武士

懸げたが、 M

三十二百五十五圓五十二錢也一十二圓也 一百四十三圓二十二錢也一十二圓二十二錢也

預金 新期 線越金

国けてるた幸之助や文體が適の上き下にひそんで、弥集の容子を見 て、北へ北と経馬りの隠れ家へと る足がであった。

前方から、此方 吉兵衛等が神 いたへと雲歌ばきの高 等が押小路近くまで來る 定つて來る武士が

一三〇講演

1,00 演藝 (計

の男が附き添つてる

との叫び腕を立たの

話增設舊二七二四番 竹食堂

御希 來望 求食堂經營者 大東談者 同六をは 報馬請午 ふ前 中 左 記 邊

速記集 移店廣告 電話三二六一番

教室修養會館內教師生稻寅松先生 大連速記研究會 申込新京吉野町一丁目 吉 野















類 發賣元 **清洲金物株式會社** オリエンタル TRADE IRIENTAL MARK 真論高級金物は 川本式 ブ 出支工本 張 所店場社 新京永樂町ニノー大連市伊勢町五五

是非 描き 人樣迄の 3 出 0 利 さ 用 れた 大小 Ø 御宴會に

局

化衛處 粧生方 밂 其材調

薬 劑 師 阪下千代子 藥

> 番九七五五话電 〇六り通條三東京新

局

**琴拾名**樣

簡單で面白い

當

女

ッ 組宛 台宛 棹宛

キャオララグ

才

マビーバール関

五拾名樣

定選御點一品のみ望お内の配上は等貳

五百 對 名 個宛

T

行

ム側腕巻時計

ル化粧料詰合凾

銀象嵌宣德銅火鉢

**李銘仙座蒲**團 五枚組

御願ひ

原料香水大

リデ

+

中

瓶

個宛

壹千

名

衛生口錠

五

壹萬

名

包宛

全國藥店各位 得て廣く全國愛用家よりの答案をを計畫し、販賣店各位の御協力を今回本紙上發表の如き大懸賞募集 募り 微意の下に なき御店は至急御申込下さ 本懸賞募集に闘する材 の御盡力に酬ひ度き

萬

名

用効其と劑配のルースカ ルトクド 問顧劑製

興奮啊及强壯劑を配合す

清凉劑及美音劑を配合す 從つて其特有の芳香により口中の歴史。 旺盛にし健胃糖と相俟つて肉種の現社を計らしむ 音楽を美化し、從つて標軸を実現ならしむ

從つて胃を伸至にし且その情化力を亢進し食欲を増進せしめ下痢。 健胃整腸膏を配合す 腿カタル等に整限期は殺菌剤と相協力してこれを治療す

從つて心外の疲労沈設したる時には各世能を開催せしめ外力を開催 恩熱を除き、扶挨難は耽眠

中に於て殺威するが故に極々の僕祭網を肇助す ロ中殺菌劑を配合す

量容

盤安藤井

と價定 田中國

茶金石製美術容器付 東京市日本橋區水天宮前 2 五二八五五三三二百千百二百百百五十百百百百五十粒粒粒粒粒粒粒粒粒粒粒

課 遺

有名な 口より入る病を防ぎ 郁 を爽快にする

答案の 邀り 方 懐中護身藥の名は何か?

口衛。錠生

答案はすべて楷書で明瞭答案はすべて楷書で明瞭

答案の送り先東京市日本橋區水天宮前東京市日本橋區水天宮前

左の順序でハッキリお書の餘白へ又は他の用紙へ

き下さい

答

0

0

0

0

昭和九年十二月末日

昭和十年一月下旬

壺・貳等賞品の內

發當 締 表籤 切

表籤

お望みの品一點づり

カベールの効能書

答案用

書紙

Ø

ද්

方

(強入は)函の中の効能書

皆様の御便利の爲各地のカメー で答案のお取次ぎを致して居ります。

ル販賣店

なでも多い程

**曽りも多くなります。** 一人で幾枚でも出せます、

四 句 住 所 氏

名

三、

御覧にな

つた

聞名

正解者多数の時は最正抽正解者多数の時は最正抽正解者多数の時は最正抽正解者多数の時は最正抽

0

筒